

東アジア経済交流推進機構・第6回ロジスティクス部会

東アジア経済交流推進機構の第6回ロジスティクス部会が中国・天津市において11月3日（水）から5日（金）の3日間開催され、北九州港からも、港湾空港局ほか2名で参加しました。

会員都市が一堂に会する全体会議では各港湾の状況発表が行われ、北九州市港湾空港局長が北九州港の現状について発表しました。



釜山広域市港湾局 他の皆さん

港湾担当部署のトップ会談では、釜山広域市の代表と、北九州市、福岡市、下関市の3市が合同で意見交換を行い、国際フェリー輸送の今後や釜山に新設されるフェリーターミナルについて意見が交わされました。



日本側3都市の参加者



全体会議 各都市署名

トップ会談後が行われた全体会議では、今後の活動に関する「天津宣言」に参加都市代表が署名を行いました。

最終日には、天津港に新設されたクルーズ船ターミナルの視察を行いました。



天津港クルーズ船ターミナル